

## 一小の校内研修(一人1授業)

### 国語科の学習

令和2年10月16日(金) 第3校時 5年2組

<単元名> 読み手が納得する意見文を書こう「あなたは どう考える」

<学習について>

この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして整理し、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが明確になるように書き表し方を工夫することができる。

この学習は6時間予定で、本時は1時間目です。本時のねらいは次の通りです。

- 新聞の投書を読み、意見を出し合う活動を通して、学習の見通しをもつ。
- これまでの生活で感じたことや考えたことなどから、主張を決め、理由を挙げることができる。

#### 活動1 新聞の投書を読んで単元を通した課題と本時のめあてをつかむ。

名前なまえでよんでほしい  
岡本おかもとちひろ(11)

先日せんじつ、けがをして病院びやういんに行いきました。その病院びやういんでは、しんさつしんさつのときに番号ばんごうでよび出だされるのですが、わたしは、名前なまえでよばれるほうがいいと思っています。番号ばんごうでよばれるのは、分かりにくく感じます。そばに近所きんじよのお年寄としよりがいたの

ですが、よばれているのになかなか気づきませんでした。「三三三番を、三三三番だと思っていた」と言っていました。名前なまえでよんでくれれば、このようなかんちがいは起こりません。母ははは、「名前なまえを知られたくない人もいるから」と言いますが、住所じよしょや電話番号でんわばんごうが分かるわけではありませ

ん。それに、名前なまえであれば、本人ほんじんが聞きのがしても、周りの知り合いが気づき、声をかけられるというよい点もありません。多くの人にとって、名前なまえでよばれるほうが分かりやすいはずで、病院びやういんでかんじやさんをよび出すのは、名前なまえがよいのではないのでしょうか。

この投書の考えに対する子どもたちの意見は次の通りでした。

名前に賛成 20人 番号に賛成 7人  
意見が割れると、学習意欲が高まります。児童は意見文を書くことに興味をもったようです。



これまでの国語の学習経験を思い出しながら、意見文を書くための学習計画を立てました。学校や家庭での生活の中から材料を見つけることとしました。

## 活動2 単元全体の学習を見通し、自分が主張することを考える。



まず、自分で主張を考えます。



次に、友だちと意見を交換します。

個々で題材選びが大切です。複数を考え、主張しようとすることを友だちと吟味しています。意見が分かれるようなものから選び、根拠をしっかりと考えることが大切です。グループでの話し合いはとてもよくできました。

## 活動3 今日の学習をふり返り、気づいたことなどを発表し合う。



授業を終える前に、学習をふり返って自分の学び方について自己評価をします。

自分ができるようになったことや不足していること、新たに気づいたことなどを確かめることは、今後の学習に大いに役立ちます。

主張と理由を考えよう。	
主張	理由
病院の呼び出しは名前前で呼んでほしい。	名前のほうが分かりやすいから。
学校にスマホを持ってこれたらいい。	おからないことやぐあいが悪くなった時にけんこうしたり、家の人に電話がこえるから。
世界にやさしい乗り物が増えほしい。	ガンリオンとまたくさん使うと地球温暖化になってしまうから。
ひょうりがなくなるとほしい。	生活がもっとしずらくなるから。
学校に好きな本やまんがを持ってこれたらいい。	つかれている時、好きな本やまんががあれば楽しくすごせるから。
ふりがえり 学校にうで時計が持てこれればいい。	時計が正しい位置にな、これにいい時に使えるから。
これからこの単元で自分の考えをも、とくわしく考えて説得力のある意見と文をまげたい。	

この児童は5つの主張を考え、友だちの意見を参考にしながら、自分の主張を1つに絞りました。意義深く面白い題材を選んでいました。

最後に、「詳しく書く(根拠)」ことをこれからの課題としました。